

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上させることを目的として、当社「コーポレートガバナンス・ガイドライン」に基づき、毎年、取締役会全体の実効性について分析・評価を行うこととしております。この度、2024年度における当社取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年度の実効性評価で認識した課題に対する2024年度の取組み

当社取締役会は、2023年度の実効性評価で抽出された課題に対して、以下の取組みを実施いたしました。

##### (1) 収益力・資本効率等に関する議論

中期経営計画の立案過程等において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について議論を重ね、取組み方針と具体的な施策を定めて、開示を行いました。

##### (2) サステナビリティに関する議論

気候変動や人権を含むサステナビリティ全般に関する取締役会への報告頻度を増やし、取締役会における議論の拡充を図りました。

##### (3) 取締役会の議論の活性化

各取締役が取締役会で審議すべきと考えるテーマについて審議するため、決議事項及び報告事項に加え、新たに審議事項を設定しました。

#### 2. 2024年度の実効性評価のプロセス及び方法

本年度の実効性評価では、独立性及び客観性を確保するため、第三者機関の関与のもと、アンケートによる自己評価方式で実施いたしました。評価プロセス及び方法は、以下のとおりです。

##### (1) 評価項目の設計及びアンケート作成

##### (2) 全取締役・全監査役を対象とした無記名方式によるアンケートの実施

##### (3) アンケート回答内容の集計・分析

##### (4) 集計・分析結果をもとに、社外取締役及び社外監査役で構成される会議体（以下、社外役員意見交換会）で審議

##### (5) 集計・分析結果及び社外役員意見交換会の審議内容を踏まえた取締役会での議論及び評価

### 3. 評価項目

- (1) 取締役会の役割・機能
- (2) 取締役会の規模・構成
- (3) 取締役会の運営
- (4) 社外取締役の活用
- (5) 株主・投資家との関係
- (6) 各委員会の評価

### 4. 評価結果の概要

本年度の実効性評価におけるアンケートの集計・分析結果から、取締役会の運営、社外取締役の活用、株主・投資家との関係等において肯定的な評価が得られており、また 2023 年度の実効性評価の課題に対する取組みにより取締役会の機能向上が確認されたことから、当社取締役会の実効性は概ね確保されていると評価いたしました。一方で、さらなる機能向上に向けて、以下の課題が確認されました。

#### <課題>

#### (1) 中長期的な経営戦略に関する議論

中長期的な経営戦略に関する議論の拡充は取締役会全体の共通認識である一方、課題認識の程度にばらつきが見られ、経営戦略の議論の機会に改善の余地がある。

#### (2) 取締役会の構成

さらなる実効的な議論や監督機能の発揮のために、多様性や知識・経験・能力強化の観点から取締役会の構成を再検討すべき。

#### (3) 最高経営責任者等の後継者計画に関する議論

指名・報酬協議会において最高経営責任者等の後継者計画に関する議論及び取組みが行われているものの、取締役会への答申が限定的である。

### 5. 今後の取組み

当社取締役会の実効性を向上させるため、抽出された課題に対し、以下の取組みを行ってまいります。

課題	今後の取組み
1. 中長期的な経営戦略に関する議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 取締役会の振返りを定期的に行い、取締役会の役割の認識を共通化する。</li><li>● 中長期戦略に関する執行の検討状況を取締役に報告し、監督及び議論の機会を創出する。</li></ul>
2. 取締役会の構成	<ul style="list-style-type: none"><li>● 適切な取締役会の構成とすべく、取締役候補者の選定を進める。</li></ul>
3. 最高経営責任者等の後継者計画に関する議論	<ul style="list-style-type: none"><li>● 指名・報酬協議会から取締役会に対し、審議内容及び活動状況に関する報告を行う。</li></ul>

以上